



森の楽校だより

VOL. 19

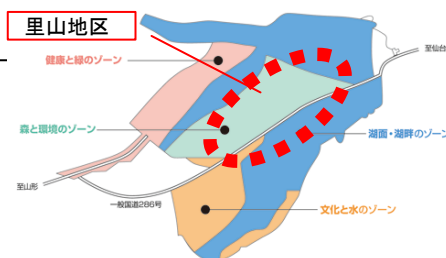


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



12 月 8 日（土）曇り時々みぞれ 餅つきイベントに参加！

自然共生園で餅つき体験イベント、農園活動に参加しました。

今回の活動は、自然共生園で行われた餅つき体験、農園活動に参加しました。

文字通り「昔取った杵柄！」といった力強い杵さばきの人もいれば、そうでもない人も!?

森の楽校では普段できない活動を体験することができました。



農園活動にも参加しました。

●堆肥場づくり

コンパネと角材を使って、畑の一角に囲いを作りました。ここに農園活動で畑から抜いた雑草や落葉を集め、堆肥を作るそうです。



●田んぼの肥料まき

田んぼの肥料として苦土石灰を撒く作業に参加しました。苦土石灰はマグネシウムを含む石灰質肥料で土の酸度調節や有機物の分解促進に効果があるそうです。



みちのく公園北地区と里山地区

いつも活動している里山地区のツリーハウスと北地区自然共生園は北川（釜房湖）をはさんで、このような位置関係にあります。

